

9月
行事予定

今夕のご縁日

かいざんえ

開山会

9/20
金曜日
11:00~

1429年前の9月20日、地中から忽然と湧き出た霊山に金龍が天より降って山を廻り守護した」と当山の縁起にございます。
その縁起にちなんで、お練り行列で本堂の廻りを一周して竜神様をお招きした後、本堂にてたくさんのお供物をお供えして百味法要を行います。

法要終了後には5年ぶりに参道にてお抹茶の接待があります。また、住職による野点も行います。
講に参加されない方も当日1000円でお抹茶の接待を受けることができますので、皆様お誘いあわせの上で参加ください。

【寺務所にて受付中】 講金 **3,000円**

朝まいり会

9月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

9月8日(日) 午前10時・午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

日曜勤行

9月8日(日) 午前9時 参加費無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要

9月25日(水) 午前11時 法要料:5000円也

皆様と一緒に上げする御礼の法要です。

要予約 坐禅の会

9月28日(土) 午前9時半~10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。
足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

事前に寺務所にてご予約ください。

ライブ配信のご案内 (配信QRコード)

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



いちよう

2024年9月号

令和6年8月20日発行/No.381

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

「家内安全・商売繁盛」

住職 平田真純



本尊聖天様の御利益のシンボルマークである「大根と巾着」、その意味する深い道理・哲理は、とりあえずさておき、ごく端的に説明するとすれば、昔からの願い事の定番「家内安全・商売繁盛」の象徴ということになるでしょう。もともと昨今では「仕事とプライベートの充実」ともなりましようか。

概して言えば、家内安全すなわち一家の和合や心身の健康などを願うことは、仏教信仰として正しいことであるように見えます。しかし商売繁盛となると、多少なりとも欲が絡んでくるので、場合によっては功罪半ばの願いになってしまう感じにもなります。

そういう意味では、「家内安全」と「商売繁盛」のセットは、私たちの欲の部分と清い部分を中和させてくれているのかもしれない。

商売を含む経済活動は、生きていくために必要不可欠のことであり、その最小単位は家族あるいは個人であり、それが集まって地域や国家となります。私たちの個別の経済活動には大きな責任があることとなります。

経済活動というとマネー中心で、いかに儲けるかというイメージがありますが、economy(エコノミー)の原語は、ギリシャ語のoikonomia(オイコノミア)で、「家事管理」の意味があるそうです。そしてその意識である「経済」という言葉は、「経世済民」、つまり世を治め、民を救済するという意味の熟語の略だそうです。

家単位にしる国単位にしる、人々の心身健康と経済の充実、人間社会の好循環の基本であり、決して個人の欲の満足が第一義になっていないということで、神仏のお導きと矛盾しないことが分かります。しかし、経済活動の真ただ中に入ってしまうと、えてして欲が勝ち、物事の本質を見落としがちです。あるいは世の動きに抗うことができず、信仰しながらも迷いの世界に埋没してしまいます。もちろん聖天様にはどんなことを願ってもよいのであって、正直にありのままに縋っていただいて構わないのですが、信仰によって、個人としても、社会にとっても、正しく導かれたいものです。

9月20日は当山の開山記念日となります。龍が舞い降りたという故事にちなんだ法要、抹茶接待などで賑々しく行う予定です。皆様とともに、無事息災で豊かな生活を目指してまいりましょう。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。



用語
コラム

「開山会大法要」

今月9月20日は開山会大法要を厳修いたします。その開山の謂れに「金龍が天より降り忽然と湧き出た山を廻り守護した」という伝説があります。

偶然にも筆者の自坊は印旛沼の近くにある「龍腹寺(りゅうふくじ)」という名で同じように龍にまつわる伝説があります。

かつて、印旛沼周辺一帯はしばしば厳しい干ばつに見舞われていて、村人たちはたびたび続く日照りに、農作物の収穫もまともにできず苦しんでおりました。

それを見かねた印旛沼に棲んでいた小龍が、その王である大龍に許しを得ず、恵みの雨を降らせ村人たちを救いました。やがて小龍は天へ戻りかけたが、大龍の怒りに触れ、身体を引き裂かれてしまい、小龍の身体は、頭、腹、尾の三つに分れ地上に落ちたといいます。その頭が「龍角寺(りゅうかくじ)」、腹が「龍腹寺」、尻尾が「龍尾寺(りゅうびじ)」にそれぞれ落ちたとされており。

信心深い村人たちを守ろうとしたのにも関わらずなんともしない龍の伝説です。

この言い伝えにもあるように命を懸けてでも龍は人々や仏教を守護するありがたい守護神です。

開山会の法要では十方念仏を唱えながら本堂を一周廻り当山を守護する龍神様を供養いたします。

本尊である聖天様、龍神様になお一層のご加護を祈念する法要に皆様も是非ご参加ください。(泉水)



お知らせ

朝まいり会 木下川薬師さんぽ会について

10月6日、朝まいり会終了後に木下川薬師さんぽ会を開催します。

木下川薬師-正式名称「青龍山 薬王院 浄光寺」ご本尊は、天台宗開祖最澄様自ら彫刻なされたお薬師さまで、今日に至るまで1,150余年にわたって衆生済度の光明を照らし続けておられます。

江戸時代には徳川將軍家との密接な関わりもあり、浅草寺の元末寺という関係であるなど、その歴史から大変多くの信仰を集めております。

ご昼食は四ツ木駅徒歩2分の所にある割烹料理店にていただきます。朝まいり会員限定になりますので、会員の方は是非ご参加ください。

参加費：4,000円

《ご報告》



出世観音供養会

7月17日(水) 出世観音供養会を執行いたしました。法要後は信徒会館大広間において住職による法話がありました。



常香講

7月20日(土) ご縁日常香講法要を執行いたしました。法要後、本堂にて水谷洗祐師によるお香についての法話がありました。



株式会社新進 法要報告

7月29日、今年も「しんしんの福神漬け」で有名な株式会社新進の事業繁栄を祈願する大般若法要が執り行われました。法要後には参道にてご参拝の方に福神漬けの無料配布が行われました。



お宮参り 報告

7月21日(日)、井中想(そう)ちゃんのお宮参りを行い、行者より加持を受けました。尊天様のご加護を受け、健やかに成長されることをお祈りしております。

境内整備事業／ 奉納者銘板完成 報告

山門並びに境内整備事業の奉納者銘板が完成しました。昨年の7月に行われた山門並びに境内整備事業のご奉納者のお名前が刻まれた銘板が完成しました。山門の左脇に設置しております。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壱万二千元(一週間)
浴油祈祷 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

